医療法人盟侑会　広報誌

盟侑だより

Vol.21

令和2年7月

新型コロナウイルス感染症対策紹介特集号

01 新年度の挨拶

令和2年7月

令和2年度も夏を迎えました。今年は、2月ころから新型コロナウィルスの話題でもちきりとなりました。想定外の事態で、地域の方々をはじめ、当法人職員一同も混乱や不安の状態でした。この地域では、幸い流行してはいないですが、当院では臨時の感染予防対策委員会を立ち上げ、頻回に話し合い、臨機応変に対応できるように日々対策を練っています。

どのような状況でも、協調性が問われ、医師を始めスタッフが協力し合える組織づくりが大切と思います。

今後も高齢化や少子化、就労人口の減少など、様々な問題を抱えていきます。当院は、保健所や近隣の医療機関との連携を円滑にして、地域に貢献したいと思います。医療と介護を中心に、患者様や御家族様から信頼される組織となるように、スタッフ一同精進していきたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

医療法人盟侑会　島松病院　病院長　**小野澤 淳**

02 受付・お薬渡しコーナーにおける対策

新型コロナウイルス感染症拡大対策の一環として、当院の受付とお薬渡しコーナーではビニールシートを設置し、対応時の飛沫感染予防に努めております。

こちらのビニールシートは毎日消毒し感染予防対策を行っております。

ビニールは透明で視覚を遮ることはないため、写真ではわかりにくいかもしれません。

ビニールと職員のマスク着用の対策を重ねているため、声が聞き取りにくいことがもあるようですが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

03 医療法人盟侑会における対策 ～発症例を想定したマニュアル作成～

新型コロナウイルス感染症拡大対策の為、当法人においても面会制限を行ってまいりました。ご家族や他関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

当法人では2月より医療法人盟侑会臨時感染予防対策委員会を設置し、小野澤院長を中心に様々な課題について検討を行い、職員に向けて手洗いと消毒の励行、マスク着用、研修会・セミナーへの参加自粛が指示されました。その後10日～2週間ごとに臨時感染予防対策委員会が開催され、細かな対策が検討されています。

4月の委員会では、道内各地にクラスターが発生したという情報を契機として、予防対策はもとより、発症例を想定した感染対策マニュアルの作成に取り組みました。感染者が指定専門病院に転院できるまでを想定し、法人内の精神科デイケアホールを一時的に感染者の隔離場所とするよう設定しました。勤務する看護師の人数、衛生用品の備蓄、不足する消毒薬や各種マスクなどを確認・準備し、清潔区域・汚染区域のゾーンニングに基づいて「隔離場所入室・退室マニュアル」を作成しました。それでも、未知の経験につき不慣れなため、職員間の不安は大きく見受けられました。そのおり、北海道医療大学の塚本容子教授（感染管理）に感染予防の初歩から指導賜る機会をいただきました。塚本教授のガウンテクニック指導やN95マスクのフィットテストなど、具体的な技術指導や各地での経験談は、感染対策を見直すにあたって非常に励みになりました。

この後、法人内独自の対策マニュアル「新型コロナウイルス対策ver5」が小野澤院長により提示されました。このマニュアルは当法人の臨時感染予防対策委員会の都度、「COVID-19精神科病院フェーズ」を使用し、現在のフェーズの状況を示された後、面会制限・感染対策などが話し合われ、作られています。まだ北海道は感染者の報告が聞かれますが、何よりも職員一人一人が真剣に感染予防を考えることができました。そして島松病院、老健アートライフ恵庭へコロナウイルスを持ち込まないという意識の向上が明確になってきました。また感染症が発生したとしてもマニュアルに応じた迅速な対応ができるように院長や施設長をはじめとして全職員で情報を共有していきたいと考えます。

介護老人保健施設アートライフ恵庭　看護部長　**中村**

04 病棟における対策

島松病院各病棟では小野澤院長指示のもと職員の手洗いと消毒、マスク着用を徹底してきました。病棟では食事の際に対面しないようテーブルを横並びにして一方向を向くように工夫しました。どうしても対面を取らざるを得ない場合は、座席を交互にずらすようにしました。又、掃除の徹底·ホールと病室の換気も行っています。なかでも、最も注意を払ったのは「新型コロナウイルスを病院に持ち込まない」ということでした。私たち職員が感染しない限り患者様が感染することはほぼありません。出勤時には体温を測り、自己管理を徹底しました。ご家族にはご負担をおかけしましたが面会制限を行い、業者の出入りも制限してきました。

お陰様で、新型コロナウイルス感染者を一人も出すことなく、また、例年に比べるとその他の感染症も少なく今日に至っております。患者様·ご家族には長い間ご協力いただきありがとうございました。まだまだ安心できる状況ではありませんが、これからも新型コロナウイルス感染防止に取り組んで行きたいと思います。

島松病院　看護部長　**定政**

05 介護老人保健施設アートライフ恵庭における対策

鈴木北海道知事が緊急事態宣言を発表したのが令和2年2月28日。当施設では、その数日前から予防対策に係る個別会議を開催し、ご家族面会の中止を連絡し始めたのが同月25日からでした。

当施設では、入所受け入れ予定の方が入院中の医療機関などで、感染が疑われる症状が相次いだことにより、受け入れ日時の再調整を余儀なくされた一方、入所利用者が基礎疾患の悪化や体調不良により退所となる状況は毎月数件あり、入所稼働率の減少は今も尚、続いています。また、在宅復帰を予定していた方については、ご家族が「入所を継続しているほうが安全なのでは」と判断されて退所を延期したり、通所リハにおいても、感染を心配された数名の利用者から「しばらく休みたい」とのご希望があったりと、少なからず影響を受けてきました。

医療法人盟侑会　事務長　**齊藤**

こうした状況下で当施設が実施している取り組みを以下にまとめてみました。

1 入所利用者への対応

- 3密回避の徹底。
- 個別リハビリなど利用者が共有で使用した機器や物品などの消毒を徹底。
- 通所リハビリのスペースのすぐ横にリハ室があるため、通所リハの時間帯には、入所者がリハ室で行わず各フロアでリハビリをして身体機能の維持を図るよう配慮。

2 通所利用者への対応

- 送迎時、入浴前の検温や体調の確認の他、利用時にはマスクの着用を徹底。
- マスクを購入できない方は、通所時に職員と共に作成した布製マスクを使用。
- 座席の間隔を開けて着座。食事の際に向かい合わせにならないよう対応。
- 鉛筆や消しゴムといった文房具に至るまで、細かい物品も使用する度に消毒。

3 ご家族への対応

- 至近距離での面会を中止し、外から窓越しの会話や、1階から2階まで吹き抜けになっているホールに移動しての面会（身体の不自由な方は職員が補助）。
- オンライン面会が行えるよう準備。オンライン面会と合わせて、平日の午後、各フロア3組までの短時間での面会を再開。
- 遠方のご家族には、毎月発行のお便りに利用者の笑顔いっぱいの個別写真を掲載して送付。
- 来所される機会があれば利用者の身体状況などを随時、伝える。

06 ストレッチャー・車椅子のシールドを作製しました

新型コロナウイルス感染症による二次感染防止対策の一環として、塚本教授のアドバイスのもと、院内で患者さんを移送する際に安全に対応できるよう、ストレッチャーと車椅子にビニールシールドを付けたものを施設管理運行課で作製しました。

07 社会復帰療法科における対策

我々社会復帰療法科も患者さん、メンバーさんに安心してご参加いただけるよう、作業療法、デイケアそれぞれの場面で感染拡大防止に努めてまいりました(詳細は下表参照)。参加してくださる皆さんの社会生活機能維持·向上、不安·ストレス解消のため細心の注意を払いながら、フェーズに沿った関わりを継続させていただきたいと思います。また、今後に向けて有効なものは継続し、必要に応じて各取り組みの解除、再開を考えていきたいと思います。

精神科作業療法

- 対面にならない座席配置
- 共用道具·座席の都度消毒
- 活動前の手洗い
- 音楽活動参加者マスク着用
- 一部ビニールシールド設置

精神科デイケア

- ご自宅での検温依頼
- 職員、メンバー全員マスク着用
- 来所時玄関での手指消毒
- 定期的手洗い
- 対面にならない座席配置
- 1時間に一度換気
- バイタルチェック職員のフェイスシールド着用
- 密接回避サイン
- 3密防止講習会
- マスク洗い方講習会
- 施設内の定期消毒
(各種スイッチ、取手、自動販売機など)

島松病院　社会復帰療法科

08 保育所における対策

院内保育所キューピットでの感染症対策として、手洗いや消毒の徹底、定期的な部屋の換気、こまめな水分補給などを行っています。子ども達の体調を把握するため、保護者の皆様には健康チェック表の記入にご協力頂きました。その他にも、やることリストを作成し、保育士１人１人がしっかりと意識を持って対策に取り組んでいます。

まだまだ油断はできない状況ではありますが、子ども達も毎日元気いっぱい過ごしています。感染症流行の１日も早い終息を願っています。

院内保育所キューピット

09 盟侑フライパン

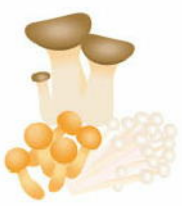
免疫力を高める食事

口から摂取した食べ物を消化･吸収する役割の『腸』には、免疫細胞が集中しており、身体全体の免疫細胞の60～70%が集まっているといわれます。『腸』の状態をよくすることが、免疫力アップのポイントです。

1. 発酵食品～ヨーグルトや納豆･キムチ等の発酵食品は腸内の悪玉菌を抑え善玉菌を増やすことにより、腸内環境を整える作用があります。

2. 緑黄色野菜～人参、南瓜、ほうれん草等に多く含まれるβカロテンは、皮膚や粘膜の健康を保つ働きがあります。

3. きのこ～きのこに含まれる食物繊維には、腸内の免疫細胞に直接作用し、活性化させる働きがあります。



4. タンパク質～細胞の主な成分です。豆腐･肉･乳類など良質なタンパク質を摂ることで免疫細胞の働きを良くしてくれます。

基本はバランスの良い食事です。免疫力を高める食材を意識しながら、多くの食材を摂るよう心掛け、病気に負けない身体を作りましょう！

医療法人盟侑会　理念　「厚生盟侑」

不幸にして障害を持った患者さんを助け、
共に病と闘うことを盟(ちか)い合う
という意味を表現しています。

医療・看護・介護・理学療法・作業療法・心理療法等の各種専門家が集まり、子どもからお年寄りまで皆様一人ひとりの健康づくりのお手伝いをすることで地域の役に立ちたいと考えています。

理事長　横濱 栄子

お車での所要時間

- 札幌市街から約30分
- JR島松駅から約3分
- 長沼町市街地から約20分
- JR恵み野駅から約3分

JRをご利用の方へのご案内

- JR千歳線（普通列車）千歳方面より 恵み野駅 下車
- JR千歳線（普通列車）札幌方面より 島松駅 下車

※時刻表・運賃については、JR北海道の時刻表案内をご参照ください

空港からのアクセス

- 新千歳空港から約20分
- 羽田空港から約120分

恵庭市内路線バスのご案内

- ecoバス『島松寿町南』で下車して徒歩約8分
- 中央バス停 北柏木から徒歩約10分
- 島松駅からは恵み野駅・恵庭駅方面行に乗車
- 恵み野駅からは島松駅方面行に乗車
- 恵庭駅からは恵み野駅・島松駅方面行に乗車

無料送迎バス運行中

詳しくはホームページをご覧ください
https://www.shimamatuhp.jp/access/bus.html

医療法人盟侑会　精神科・神経科・内科

島松病院

〒061-1356 北海道恵庭市西島松570番地
TEL.0123-36-5181　FAX.0123-36-5184
ホームページ　https://www.shimamatuhp.jp/
MAIL　simamatu@shimamatuhp.jp

ご相談先
医療相談課　医療相談員までご相談下さい
島松病院　検索

医療法人盟侑会 介護老人保健施設

アートライフ恵庭

〒061-1356 北海道恵庭市西島松567番地1
TEL.0123-37-1511　FAX.0123-37-1516
ホームページ　https://www.artlife-eniwa.jp/
MAIL　artlife@artlife-eniwa.jp

ご相談先
支援相談課　支援相談員までご相談下さい
アートライフ恵庭　検索